

Hachioji MAIL NEWS



輸送サービス労組八王子地本



2025.04.25

No.169



2025 年 04 月 18 日開催

八地申
第 18 号

団体交渉

立川統括センター 2 階運輸セクションにおいて 安心して業務が担える職場レイアウトの改善 を求める申し入れ

1. シンクが一箇所しか無い現状は、社員数に対して「必要な設備が整備されている」とは到底言えないこと、八地申第 19 号団体交渉時に会社は「共用設備を管理する」と回答したが、職場では不衛生な状態が散見され、会社回答とは矛盾があることから、シンクの増設と衛生上適切な管理を行うこと。

回答：必要な設備は整備しており、現時点では設備等を回収する計画はない。なお、引き続き、適切な施設管理を行っていくが、流し台等の全社施設使用後は、必要な片付けや清掃を行うよう、今後も指導していく。

組合

会社

2. 社員数に見合った食事スペース・業務スペースを確保すること。増設が出来ない場合は、管理者・企画業務等社員の執務箇所を 3 階企画セクションとすることで食事スペース・業務スペースを確保すること、

回答：必要な設備は整備しており、現時点では設備等を改修する計画はない。

組合

会社

3. 食事等による乗務の中断の際、安心して過ごせるよう、業務スペースと食事スペースを区分すること。また、区分に必要なパーテーション等設備を整備すること（改善別紙資料あり）

回答：必要な設備は整備しており、現時点では設備等を改修する計画はない。

組合

会社



申 19 号
議論経過は
こちらを
ご参照下さい

4 月 18 日に開催した団体交渉の冒頭議論において、昨年 5 月 30 日に開催した申 19 号団体交渉で「確認した事項が履行されていない」ことについて指摘しました。支社は「是正事項がなかったため現場を指導していない。団体交渉の報告は行った」と回答しました。「どのような議論を職場としたのか？」確認するも、「副総括 2 名に伝えた」とだけ回答し、支社として団体交渉を申し入れられた重大性を認識していないと言わざるを得ない状況があらわになった為、項目に入ることなく交渉を中断しました。

団体交渉再開に向けて、地本から支社に経過を明らかにすることを求めています。

**立川運輸分会の要請書に基づき『職場改善』を求め臨みましたが、
団体交渉が形骸化された状況では議論は進められません。**

Hachioji MAIL NEWS



輸送サービス労組八王子地本



2025.06.09

No.181



2025年5月28日、“中断”していた団体交渉を再開！

八地申
第18号
団体交渉

立川統括センター2階運輸セクションにおいて 安心して業務が担える職場レイアウトの改善を 求める申し入れ**その1**

4月18日の交渉中断以降、地本は緊急で申し入れた申24号交渉において
「団体交渉における確認事項を確実に履行していく」ことを労使確認してきました。

申24号交渉の
詳細はこちら



本交渉再開にあたり、前回交渉にて調査・確認を求めていた2点の事項について議論を行いました。

昨年開催した申19号交渉(2024年5月30日)において「大宮駅3・4番線ホームのトイレは使用可能」と回答して以降、職場周知(2024年12月25日)までに時間を要した理由は？

① 時系列

2024年5月30日

団体交渉にて“大宮駅3・4番線ホームのトイレ”の使用を求め、「緊急時には使用可能」と回答される

2024年6月初旬頃

大宮支社へ八王子支社から“大宮駅3・4番線ホームのトイレ”について使用の可否を問い合わせる

2024年夏頃

大宮支社より「当該トイレは、SCSPの詰所にあることから調整している」旨の連絡がある

2024年夏終盤頃

大宮支社より「当該トイレのある詰所をJR本体へ変更する」旨の連絡がある

2024年11月頃

大宮支社より「当該トイレのある詰所の間内改良を実施する」旨の連絡がある

2024年12月25日

間内改良・契約等の調整が整い、「当該トイレが使用可能である」旨を“職場周知”

② 時間を要した具体的な原因

- 八王子・大宮支社間、八王子支社内(モビサ内、モビサ・勤務間)でのコミュニケーションにおける課題
→担当者任せにしまい、状況確認や情報共有などが不足していた
- 八王子支社→八王子地本でのコミュニケーションにおける課題
※交渉以降、職場周知が一切されなかったため地本は窓口間を通じ繰り返し折衝を行うも、具体的な原因や必要な情報共有がされなかった。
→責任回答した内容・スケジュールに変更が生じた際などにおける情報共有を改善することを確認

職場での社員の声の把握方法は？

- 現場管理者が日頃の社員とのコミュニケーションを通じて社員の声を聞き、管理者間で共有している
- 支社主管部が現場訪問した際に現場管理者へヒアリングを行い、社員の声を聞いている

社員には“速やかな報告”“正しい報告”を徹底指導するも、
「コミュニケーションに課題があった」と平然と回答する会社体質を糾そう！

その2へ続く

Hachioji MAIL NEWS



輸送サービス労組八王子地本



2025.06.09

No.182



2025年5月28日、“中断”していた団体交渉を再開！

八地申
第18号
団体交渉

立川統括センター2階運輸セクションにおいて 安心して業務が担える職場レイアウトの改善を 求める申し入れその2

1. シンクが一箇所しか無い現状は、社員数に対して「必要な設備が整備されている」とは到底言えないこと、八地申第19号団体交渉時に会社は「共用設備を管理する」と回答したが、職場では不衛生な状態が散見され、会社回答とは乖離があることから、シンクの増設と衛生上適切な管理を行うこと。

➡必要な設備は整備しており、現時点では設備等を改修する計画はない。なお、引き続き、適切に施設管理を行っていくが、流し台等の会社施設使用後は、必要な片付けや清掃を行うよう、今後も指導していく。

< 組 合 >

- ① シンク増設は実施しないのか？
- ② 「共用設備を管理する」と回答しているが、会社が行っていることは？
- ③ 「管理する」とは、『常に使える状態を維持すること』だと認識しているが、会社の認識は？
- ④ 認識が合わない。会社が常に使える状態を維持すること＝管理するということではないか？自身の回答と認識が乖離しているのではないか？
- ⑤ 現場社員は「不衛生な状態」と認識しているが、会社の認識は？
- ⑥ アクセスへゴミ回収等を委託しているが、具体的にどのような契約をしているのか？
- ⑦ 台拭きの管理は？
- ⑧ ウォーターサーバーの管理は？
- ⑨ 回答の「指導していく」とは、誰を“指導”することか？

< 会 社 >

- ① 2022年に水道管を切除したので不可能。
- ② 施設を管理していくという意味で回答した。申19号交渉後にシンク状況の調査はしていないが、職場訪問時にヒアリングを実施。三角コーナーの油詰まり対策でネットを目の粗いものに変え、パウチでシンクの使い方等と呼び掛けている。
- ③ 『必要な設備・備品を用意すること』という認識。
- ④ 会社はゴミまで管理しない。使用した社員等が進んで協力して清潔な状態の保持に取り組むことで、管理できている状態となる。
- ⑤ 使用した社員等が清潔な状態保持に取り組んでくれているので、「不衛生な状態ではない」。
- ⑥ 毎日午後“ゴミ回収”“トイレ掃除”、週3回“床掃除”で、シンク清掃は契約に入っていない。
- ⑦ 台拭きは、トイレトペーパーで拭いている社員がいたため設置した。臭気や破損等、気付いたことがあれば管理者へ伝えて欲しい。
- ⑧ ウォーターサーバーは、水受けや外装の清掃を週1回程度管理者が実施し、カートリッジ交換は半年に1度メーカーから部品が配送された際に日勤者が実施している。
- ⑨ 使用している社員ではなく、管理者を指導する。

2. 社員数に見合った食事スペース・業務スペースを確保すること。増設ができない場合は、管理者・企画業務等社員の執務箇所を3階企画セクションとすることで食事スペース・業務スペースを確保すること

➡必要な設備は整備しており、現時点では設備等を改修する計画はない。

< 組 合 >

- ① 想定した社員数は？
- ② 社員数に見合ったスペース確保ができているという認識か

< 会 社 >

- ① 立川車掌区と運転区に設置されていた座席数合計と同様の54席を設置しており、出退勤が重なる8～11時頃でも2/3程度座席が埋まる計算で、座席数は足りているという認識である。
- ② 線路側のハイカウンターを食事優先エリアとした以外のゾーニングはしていないが、茶色の床の部分だけで足りているという認識。

その3へ続く

Hachioji MAIL NEWS



輸送サービス労組八王子地本



2025.06.09

No.183



2025年5月28日、“中断”していた団体交渉を再開！

八地申
第18号
団体交渉

立川統括センター2階運輸セクションにおいて 安心して業務が担える職場レイアウトの改善を 求める申し入れ**その3**

2. (続き)

< 組 合 >

- ① 発足にあたり「2階は乗務員と指導員。3階は事務や管理者」と説明されたが、2階に管理者がいる等説明と異なる現状がある。コンセプトが変わったのか？
- ② 特定の管理者が特定の座席を常時使用しているが、2階でしかできない業務をしているのか？スペース確保の観点からも疑問だ。
- ③ テーブル上に設置されているモニタの設置方法を見直してスペースを確保すべきだ。
- ④ オフィスキオスクやモニタ等が計画性なく設置する等、2階に詰め込み過ぎだ。換気の問題等もあることから改善すべきだ。
- ⑤ 落ち着いて食事をするために3階を食事スペースとして開放すべきだ。
- ⑥ ビックパッドに常時映像を映している理由は？

< 会 社 >

- ① コンセプトは変わっていない。『2階は乗務業務に従事する社員とそれに関する管理者』『3階は企画業務と運輸事務業務に従事する社員とそれに関する管理者』が使用している。
- ② 乗務員に関する業務に従事しており問題ない。スペースが足りていないという認識はない。
- ③ 乗務員に必要な情報を表示するために設置している。
- ④ 声は受け止める。テーブル天板の凹凸問題や乗務カバン置き場不足問題等、社員の声に基づいた改善は実施している。
- ⑤ コンセプトと異なるので、3階を食事スペースにはしない。
- ⑥ 業務において必要なので映像を映している。

3. 食事等による乗務の中断の際、安心して過ごせるよう、業務スペースと食事スペースを明確に区分すること。また、区分に必要なパーテーション等設備を整備すること(改善案について、別紙資料あり)。

➡必要な設備は整備しており、現時点では設備等を改修する計画はない。

以前の団交で「改善を望む声はない」と会社が回答したことから、100名を超える職場の“声”を伝えました。

< 組 合 >

- ⑦ 伝えた職場の“声”に基づき、改善案を考え資料として提出している。2階フロアが窮屈で落ち着かないので詰所や寝室・ロッカーで過ごしている社員が多くいることから、我々は職場改善に本気で取り組んでいる。
- ⑧ 食事時に管理者から声を掛けられることが多く、離席を余儀なくされる時もある。配慮すべきだ。
- ⑨ 明確な区分と必要なパーテーションを設置し落ち着けるスペースを確保すべきだ。
- ⑩ 管理しやすくするためにパーテーションを設置しないのか？社員の声を聞くべきだ。

< 会 社 >

- ⑦ “声”と問題意識は受け止め、職場に伝える。改善を望む声もあったが、現状で問題なく使用している社員もいることから変える考えはない。
- ⑧ 必要なコミュニケーションであり、その行為自体を妨げるものではない。とは言え、配慮は必要。
- ⑨ 見通しの良いスペースとすることで管理しやすい。区分すると昔ながらの職場スタイルに戻ってしまう。本社の運輸職場再編時の考え方に基いて整備している。
- ⑩ パーテーションを設置すると明るく開放的な職場では無くなってしまいうため、設置しない。

最後に、本交渉でのやり取りを職場や支社内で共有することを求めて団体交渉を終了しました。

**「声は受け止めるが、改善するつもりはない」との回答を繰り返す会社。
職場から“改善”を求める声が続出している現状を真摯に受け止めるべきだ！**